

令和6年度 帯広市有林野管理経営審議会 議事概要

○日時・場所 令和6年8月1日（木）

13時00分～16時45分：現地視察 市内一円（市有林）

16時50分～17時40分：審議会 ソネビル6階 講習会室

○出席者 委員：平田委員長、家常副委員長、吉岡委員、岡崎委員、今井委員

事務局：桃井農政部長、小林農政室長、廣瀬農村振興課長、廣川農村振興課長補佐
勝野係長、山後主任補、水戸係員（林業振興係）

○配布資料 資料1－1 帯広市の森林について（全体）

資料1－2 帯広市の森林の種類

資料1－3 市有林の概要

資料2 （第13次市有林施業計画）施業計画比較表

資料3 令和6年度林業振興関係 事務事業別予算対比増減調

資料4 帯広市森林整備計画（計画期間：令和6年度～令和15年度）

現地視察用資料

【現地視察】

1. 開会

2. 農政部長挨拶

3. 報告事項

（1）市内の森林の現状について（資料1）

（2）帯広市森林施業計画（第13次市有林施業計画）の進捗について（資料2）

（3）令和6年度予算について（資料3）

資料に沿って事務局より説明。

4. 現地視察「カラマツ林の生育過程について」

（1）大正町（林小班2-39） カラマツ2年生

（2）昭和町（林小班13-82） カラマツ3年生

（3）泉町（林小班11-111） カラマツ9年生

（4）広野町（林小班39-66） カラマツ27年生

（5）八千代町（林小班38-86） カラマツ55年生

（6）太平町（林小班44-77） カラマツ1年生 ※クリーンラーチとの比較

【審議会】

5. 意見交換「今後の市有林の施業について」

＜委員からの意見・質疑＞

【委員】

植林を進めていき一部天然林を残して天然林化させていけば、管理も軽減して防風効果も維持されるのではないかと。十勝の在来種のカシワを使えば、注目される防風林施業になると思う。

【委員】

防風林として防風機能を維持していくのは大事。それと同時に、森林が持つ機能、木材の再生産、自給可能な資源として育成していくことも重要。これを防風保安林で行っても良いと思う。山岳地の市有林では、齢級が30年を経過している木が多く存在しているが、施業に手をつけられない森林が出てくるのでは。市で管理しにくい森林は積極的に天然林化していき、場所により人工林施業、天然林施業に分けて管理していても良いのではないかと。

【事務局】

年間の事業量は、林業従事者数や事業体の体制により限度がある。山岳地の林道から離れた人工林は保安林指定がされているなど条件もあるため、手をつけにくい森林は天然林化をしていく考え方も持ちながら、今後の計画を検討していきたい。

【委員】

伐採するのに作業費用がかかってくると思うが収支はマイナスにはなっていないのか。黒字化されているのであれば、外部に委託してどんどん伐ることができるのではないかと。

【事務局】

間伐は伐る事業費と入札による売却益が別である。材の質・量によっては収支がマイナスになる可能性もある。皆伐は事業費込みで入札をしているため、収益は必ずあるが、跡地の造林をする際には、予算面や苗木の確保の見込などといった事を考慮した上で、伐採の全体事業量を検討しなければならないと考えている。

【委員】

伐る量で経費が賄えるかは現地の木材の質によると思う。原料材であるチップも今の市況では一般材に近い値段になっている。カラマツの市場として、梱包材、パレットになるが、世界の市場動向により原料がだぶついており丸太がなかなか売れないと聞いている。皆伐後に何を植えるか市の指定樹種はあるのか。

【事務局】

伐採後の樹種選定については施業計画に記載しているが、現地の状況や前に植えていた樹種などを考慮し選定することとしており、場所ごとに樹種を指定していることはない。

【委員】

天然林化する際に、広葉樹が入った針広混交林が強いとも言われているので、そのようなことも考慮した方が良いのではないかと。と思う。

【委員】

今日視察した、カラマツとクリーンラーチとの比較について、今後、どのような差がでるか推移をみていきたい。

【委員】

クリーンラーチはカラマツと比べ二酸化炭素吸収効果が高いと言われ、カーボンニュートラルにも貢献する木であり、ネズミの食害にも強いとも言われている。苗木の値段はカラマツより高いかもしれないが、クリーンラーチを使っていてもいいのではないか。

【委員】

国の温室効果ガス排出削減目標で森林吸収によりマイナス 2.7%との数字が出ているが、これは森林の管理が大前提にあると思う。老木は放置しておかず、新しい木に更新していく人工林の管理が大事であるとする。

【委員】

山岳地では、今の施業計画にあるガイドラインのとおり、傾斜が緩やかな土地については木材生産に力を入れ、傾斜地においては保安林にもなっているので、環境保全を優先していくことが望ましい。

6 その他 帯広市森林整備計画の策定について（資料4）

令和6年3月に策定した帯広森林整備計画を委員に配布。

7. 閉会